

第3回豊島区保健福祉審議会における委員からの意見・質問一覧

資料番号	ご意見・ご質問	回答
<p>【資料3】 豊島区重層的支援体制整備事業実施計画（案）</p>	<p>行政、半官半民、民間の重層的な相談支援体制が必要である。</p>	
	<p>【P5～6 事業の体系とイメージ図について】 内容が5ページでは表の形式で、6ページではイメージ図で表現されているところがややわかりにくく感じる。 表とイメージ図がリンクするように、表の並び順を変える、あるいはイメージ図に表内の番号を振るなどの工夫があった方が、全体像がわかりやすいのではないか。</p>	<p>現状、5ページは表形式で個々の事業の内容を説明し、6ページは各事業の関係性を表現しています。 ご指摘のとおり、全体像がよりわかりやすくなるよう、6ページの事業名に5ページと同じ番号を追記します。</p>
	<p>【P6 イメージ図 包括的相談支援事業について】 包括的相談支援事業の中で、「自所属の対象ではない相談であっても」という内容と「自ら支援を求めることができない人に」という内容のところで、質が異なり、なおかつ毛色が違う相談が並列で書かれている意味がつかみづらかった。包括的相談支援事業は、こんなことも、こんなこともする、というイメージなのか。</p>	<p>「自ら支援を求めることができない人に」という部分は「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」の説明部分になっています。より全体像がわかりやすくなるようイメージ図を精査いたします。</p>
	<p>【P6 イメージ図 包括的相談支援事業について】 窓口につながっても、もちろんそこで終わりではなく、サービス利用等になって、中断して、を繰り返すことになるが、その伴走は誰が担うのか。</p>	<p>そのようなケースにおいては、例えばアウトリーチ等を通じた継続的支援事業でアプローチする、地域づくり事業で地域での居場所を整備するなど、どこかにつながり続ける支援体制を整備することが本事業を実施するの意義だと考えております。</p>
	<p>【P6 イメージ図 包括的相談支援事業について】 地域住民からの幅広い相談窓口である形がのぞまれる。 障害分野は基幹相談支援センターというより、実際の区役所が相談窓口となっている現状がある。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は、庁内関係課と共有させていただきます。</p>
	<p>【P6 イメージ図 多機関協働事業について】 多機関協働事業の図の真ん中に、ご本人を入れると良いと思った。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 支援に対するイメージが伝わりやすいよう、ご提案のとおり、ご本人を図の中心に追記します。</p>

資料番号	ご意見・ご質問	回答
<p>【資料3】 豊島区重層的支援体制整備事業実施計画（案） （続き）</p>	<p>【P8 包括的相談支援事業の事業名について】 本計画がいつ発行されるかわかりませんが、2月1日に開設予定の児童相談所が含まれていないのはどうしてか。 子の養育に困難を示す区民に対し、一時保護や施設入所を行う。 また、子どもを産んだけれども育てられない方には、里親や養親に子どもを託すしくみが法定事業として豊島区で始まる。</p>	<p>記載されている事業名につきましては、社会福祉法の法定事業を記載させていただいているものです。 同計画の13ページに多機関協働事業として、文章の中では、地域包括ケア会議や要対協にも触れておりますが、事業名としての記載は控えさせていただいているところです。 児童相談所の設置に伴い、児童福祉法第6条の4等に基づく、里親に関する事務および養子縁組のあっせんに関わる事務についても豊島区の取り組みとして大変重要なエッセンスだと考えております。 つきましては、包括的相談支援事業の事業説明の中で、上記の内容を盛り込ませていただくとともに、表外の注意書きについて、誤解の無いように修正したいと考えております。</p>
	<p>【P6～13 事業の内容とコラムについて】 事業の内容とコラムの内容はできる限り連続で載せた方がわかりやすいかと思った。</p>	<p>事業の内容とコラムが関連していることをがよりわかりやすくなるよう、検討します。</p>
	<p>【P13～14 多機関協働事業、重層的支援会議と連携体制について】 庁内連携の課題と整理、となっており、内容もそのように組み立てられているが、本来の目的である包括的相談支援体制の運用にあたり、豊島区役所関係者のみの会議ではない形が考えられないか。（区主導が強すぎる感がある）</p>	<p>重層的支援体制を整備するにあたっては、旧来のいわゆる縦割り行政の弊害を排除することが重要と考えております。この課題を解決するため、豊島区がこれまで独自に取り組んできた福祉包括化推進会議は、豊島区の重層的支援体制整備事業の中核をなすものとして今後も継続していく考えです。 ご指摘の区役所関係者のみではない会議については、今後の事業を進める中で検討していきます。</p>
	<p>【P13～16 多機関協働事業と福祉包括化推進会議の位置づけについて】 多機関協働事業と福祉包括化推進会議の位置づけについて、もう少し理解したいと思った。</p>	<p>多機関協働事業は、従来の分野では対応しきれない複雑化・複合化した事例への分野横断的な支援を目指すものです。 福祉包括化推進会議は、下部組織として福祉包括化推進部会が設置されており、この部会では、区の福祉・子ども・住宅・教育部署と社会福祉協議会が、複雑化・複合化した事例に対する支援の方向性等を協議します。このように、福祉包括化推進会議は、多機関協働事業における中核的な組織として機能することを想定しています。</p>